
「低心機能例に対する冠動脈バイパス術の手術成績と心機能の変化」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの電子カルテの情報を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB 委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2007年4月1日から2023年6月30日の期間に埼玉医科大学国際医療センター心臓血管外科を受診し、冠動脈バイパス術を行った患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

低心機能例に対する冠動脈バイパス術による心機能の回復効果は、予測が困難で、全ての患者さんで改善があるわけではありません。冠動脈バイパス術前後での変化と術前の因子との関連を調べることで最適な血行再建方法を考慮するうえで重要なデータとなります。

3. 研究期間

病院長の許可後～2023年12月31日

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

電子カルテから、合併症の有無、腎不全、透析、人工呼吸時間・日数、PCPSの有無、脳梗塞、塞栓症、再手術、心機能、エコーでの駆出率(EF)、左室径、左室機能、右室機能、運動異常、所見、冠動脈病変部位、シャント率、再発、弁膜症、心不全、心筋梗塞、血液検査結果(クレアチニン、ビリルビン、CK、CK-MB、AMI)、発症日、術後入院期間、ICU日数、手術術式、手術時間、心停止時間、人工心肺時間、手術術式、オンポンプ、オフポンプ、吻合部位、使用グラフト、造影検査結果、狭窄度、心筋梗塞既往、心不全既往、カテーテル治療の既往を調査します。

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者である中嶋博之が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者

さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

電子カルテから情報を収集します。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学国際医療センター 心臓血管外科 中嶋 博之（研究代表者）

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 心臓血管外科 中嶋 博之（研究代表者）

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 心臓血管外科 中嶋 博之（担当者氏名）

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4111（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：低心機能例に対する冠動脈バイパス術の手術成績と心機能の変化

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター 心臓血管外科 中嶋 博之